センターだより

2月号

令和7(2025)年2月17日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市佐竹台1-6-3
TEL 06-6170-1575
FAX 06-6170-1585
メール s-educ@city.suita.osaka.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

【教育支援教室「あるくの森」】

令和6年4月に吹田市総合防災センター(DRC Suita)8階に開室した新しい教育支援教室の愛称が「あるくの森」に決定しました。通室する児童・生徒の想いや、この教室で大切にしたいことや願いを込めた愛称となっています。今後は、「あるくの森」が児童・生徒に浸透し、教育支援教室が児童・生徒にとってさらに身近で安心できる居場所となるように努めていきたいと思っております。

～～「あるくの森」に込めた想い～～

☆多様な子どもたちに、未来への架け橋を一步一步、自分のペースで進んでいってほしい、という願いを込めています。

☆フランス語で「虹」を表す「arc en ciel」は直訳すると「空への架け橋」であり、「架け橋」を表す「arc」で「虹」のイメージと「未来への架け橋」の両方を表現しています。

☆フィンランド語で「はじまり」を意味する「alku」、英語で「大きな船」を意味する「ark」も「あるく」にかけています。

【連載シリーズ】子供主体の教育をめざして 第3回

「“めあて”は誰のめあてでしょう？」

小学校体育の走り幅跳びの授業を想定した場面です。授業が始まり、先生が「今日のめあては…です。」とめあてを提示しました。みんなでめあてを読んで、その日に行う運動を説明した後、子供たちは運動を開始しました。

㊦ 遠くへ跳ぶために、力強く踏み切ろう。

みなさんは、どのように感じられましたか。体育の授業に限ったことではありませんが、このめあては子供のめあてとなっているのでしょうか。先生が教えたいめあてになってしまい子供たちの主体性を奪うことにつながっていないでしょうか。

<子供の問いや困り感を出発点に!>

めあては「子供たちが今日何を学ぶのか?何ができるようになるのか?」という授業のゴールとなるものですね。授業の初めに提示することで、見通しを持つことができるという安心感は生まれます。しかし、子供たちが「どうやったら自分は遠くへ跳ぶことができるのだろう。」「自分はどこに課題があるのだろう。」「あの子はどうしてあんなに跳べるのだろう。」という困り感や問いが生まれず、先生から教えてもらうことを待つことになってしまう恐れもあります。そうなると子供たちは、自ら問いを持ち、課題を解決していく力をつけることができるでしょうか。他の運動や他教科に学びを活かすことができるでしょうか。

今回の想定場面であれば、教師主導で運動の方法やコツ等を”指導”するのではなく、子供たちが困り感や問いを持ち、他者と比較したり、仲間や先生と意見を共有したりすることを通して、学びを積み重ねていくことが大切です。子供たちは走り幅跳びの踏み切りに関する「知識・技能」だけでなく、他者と比較して気付いたり、参照したり、気付いたことを活かして運動したりするなど自分の課題に関して合理的に解決するための「思考力・判断力・表現力」も身に付けていくこととなります。もちろん、子供たちに丸投げというわけではなく、子供たちとともに「めあて」を設定していきたいものです。

<授業を問い直す>

ぜひ、本連載シリーズの第1回にも書かれている、「待つ」ことを実践してみてください。では何を待つか?第2回でも書かれていたように、子供たちが「話たく」なり「対話を始める」のを待ってみましょう。そのような『はじめに子どもありき』で学びを描いていくことで、先生方の見える景色も変わります。そして、子供たちを見取る力もつき、授業も豊かなものになっていきます。

気付かない内に、<効率の良い><最短の>方法で”指導”してしまっているかもしれません。先生方が日々尽力されている授業において子供たちが何を学び、子供たちの今後の人生においてどのように役立つのか…ぜひ一度立ち止まり、そんな視点を持って、先生方同士で対話していただければと思います。

スーパーティーチャーに学ぶ1day

9年間を見通した資質・能力を育む授業づくり

9:00 受付開始

【午前の部】

9:30~10:00 企画1 吹田市 授業づくりの挑戦

10:00~11:30 講座1 資質・能力を育む 社会科の授業づくり

11:30~12:30 昼休憩

【午後の部】

12:30~14:00 講座2 資質・能力を育む 算数科の授業づくり

14:15~15:45 講座3 資質・能力を育む 国語科の授業づくり

16:00~16:45 企画2 鼎談

17:00 閉会

先生の学びをサポートします！

教科で子供達に
どんな力を育てるのか知
りたい！

実際に授業をどう創るの？
くわしく知りたい！

4月に向けて、何から始
めたらいいかな？

- 資質・能力を育てる「目的」とは？
- 各教科で「どのような資質・能力」を育成するのか？
- 資質・能力の育成を目指し「授業をどう描く」のか？
- 小・中の校種を越えた「9年間の学びをどう描く」か？

「知識を習得する授業」から、「自ら学び自ら考える授業」へと「授業観」の転換が求められる今、全国各地でご活躍されている3名の先生に改めて資質・能力を育む授業づくりについてお話を伺います。研修後半には3名による鼎談も計画中です！
4月からの授業を アップデートしてみませんか？

さつきらるーむ

経験年数の少ない教職員のいろいろな悩みを 個別相談できるところです！

- ◆ 開室時間 午後5時00～午後6時30分（申込時 要相談）
- ◆ 場 所 教育センター他（オンラインでの実施も可能です。申込時に御相談ください。）
- ◆ 対 象 者 初任者教員等 経験年数の少ない教職員 ※複数で相談を希望することも可
- ◆ 対 応 者 教育センター指導主事等
- ◆ 内 容 仕事に関するすべての悩みを相談できます。（授業づくり・学級経営・保護者対応等、何でもOK）
- ◆ 申込方法 メールまたは電話(06-6170-1575)にて申し込みください。

メール送信先 ① 初任者研修担当へ

校支援システムにて、初任者研修担当 宛

② 教育センター代表メールへ s-educ@city.suita.osaka.jp

以下の内容を記入ください。

件 名：さつきらるーむ

本 文：①学校名 ②相談者名 ③希望日時 ④相談内容